



第2学年1組 国語科学習指導案 福井県福井市順化小学校

昭和48年1月24日(水) 第4校時

1 題材 小さな神様

2 本時の目標

出雲の国をりっぱにしたすくなひこが、人々のしあわせのために国づくりに出かける気持ちを読みとらせる。

3 児童について

第1次感想でみると「すくなひこは、なぜあんなに小さいのだろう」とか「すくなひこは、なぜ、あわのくきにのぼって遠い国へ行ってしまったのかふしぎに思う」とか表面にあらわれたことを読みとっているのが、ほとんどで「出雲の国をりっぱにしたから新しい国づくりに行ってしまった」と読みとっているのは、ごくわずかである。それで、すくなひこは、なぜ、はたらいっている人のために、いろいろ考えたり、してあげたりしたのかということ系口としてさいごにすくなひこがどうなったかを読みとらせたい。

4 題材について

主人公すくなひこの機知に富んだ行動やユーモアの豊かな幸福を追求する人間性あふれた作品である。

読みを重ねるごとに物語のもつおもしろさに気づかせ、すくなひこの活躍を通して主題をつかませ、ひとりひとりの子どもに読書への目を開かせるのに適切な題材である。

5 指導について

どこかへ飛んでいくすくなひこを描いたさし絵や「すくなひこは、どこへ何をしにいったと思うか」という教師の発問によってすくなひこのようすや心を読みとらせ、主題に迫らせる手だてとしたい。

いろいろな面から考えさせるために、「早く帰ってきておくれ」といっている大国主の心の中をグループで話し合わせたり、動作化させることにより、自分の考えとほかの人との考えとをくらべさせたい。

6 指導計画

- (1) 学習計画と第1次感想 2時間
- (2) 全文のあらすじと新出漢字 2時間
- (3) 1～4の場面をくわすく読む 4時間(本時4/4)



- (4) 第2時感想とつづき話 2時間
- (5) ほかの昔話を読む 1時間
- (6) ことばの学習 まとめ 1時間

7 指導過程

過程	教師の働きかけ	児童の活動	指導上の留意点
目標確認	○ どこかへ行ったすくなひこのようすと気持ちを読みとろう	○ すくなひこはどこへ何をしに行ったのかをかんがえる。	○カードで本時の目標をはっきりつかませる。
読む	○大国主やすくなひこの気持ちを表して読もう。	○ 指名音読。 読みぶりについて思ったことを話し合う。	読むはやさ、声の大きさ「 」の部分の読み方を考えさせる。
読みとる	○すくなひこがとても小さいのがわかるのはどこか。 ○あわのくきはどのようにまがったか。 ○地面につきそうになったとき、くきはどうなったか。 ○ すくなひこはどこへ何をしに行ったのだろう。	○ちいさいようすがわかるところ を引く。 ○ ゆみのようにまがったときのすくなひこの気持ちを考える。 ○すくなひこはどうなったかを話し合う。 ○大国主やすくなひこになりきって動作化する。	○「あわのくきをつたって・・・」に気づかせる。 ○さし絵により「ゆみのようにを具体的に理解させる。 ○短文づくりにより「びゅんと・・・」を想像させる。 グループで自分の考えを出し合い、比べさせ、読みを深めさせる。
書く	○すくなひこへの手紙を書いてみよう。	○すくなひこの心の中を書き発表する。	書いてまとめさせる。
読む	○きょう学習したことを読みの中に生かそう。	○ 表現読みをする。	登場人物になりきって読ませたい。
次時への発展	○ 第2次感想を書こう。	○自分の生活と結びつけて書く。	○ つづき話と関連させて書く。



読み方の工夫

上げる

下げる

口をぱっと開く

間をとる

《 もっと間をとる

----- 弱く

———— 強く

===== はやく

~~~~~ ゆっくり